

そのほかどのようなことが話し合われたのでしょうか



その他には、来年度の水田試験の内容や、長泥地区の営農再開に向けてどのように取り組んでいくのかというトピックが出てきました。主にコメントがあったのは以下のようなものでした。

- ✓ 来年度の水田試験の計画は、専門家と内容を協議して試験方法を検討してもらいたい。
- ✓ 長泥地区の土地利用について、村や行政区含めて検討してもらいたい。
- ✓ 長泥地区の営農再開に向けたスケジュールや計画について次回の協議会で示してもらいたい。

### ● 長泥地区運営協議会とは？？

この協議会は、正式名称を「飯館村長泥地区環境再生事業運営協議会」と言います。

おさらい

目的：長泥地区の環境再生事業を安全・安心に配慮しながら、効果的・効率的に進める上で課題となる事項について、委員の皆様から様々なご意見をお聞きすることを目的としています。

開催：これまでに11回の会議を開催しました。(第1回は2018年8月開催)

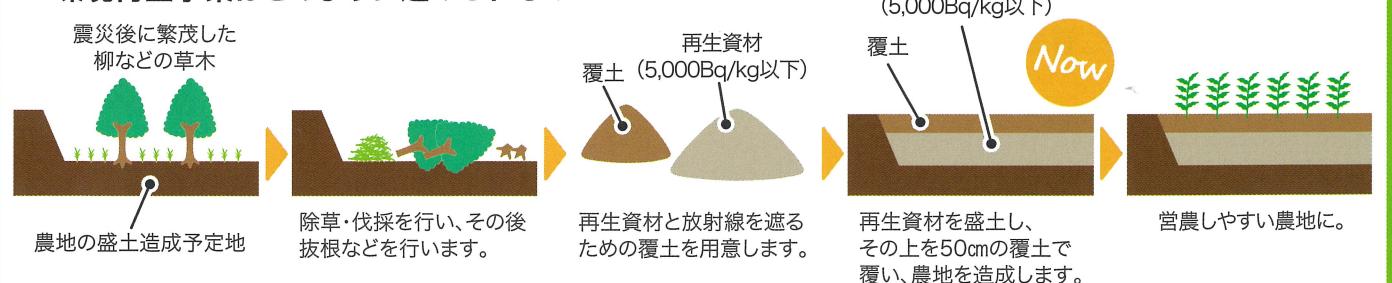
委員：長泥地区の区長・住民の方々、近隣行政区の区長、飯館村役場の方に加え、有識者として農業や放射線、環境などの専門家が参加しています。

### ● 飯館村長泥地区の環境再生事業でやっていることとは？

飯館村長泥地区の復興に向けた事業のことです。

具体的には、飯館村の除染で出た放射能濃度が1キログラムあたり5,000ベクレル(Bq)以下の除去土壌を、異物除去などの工程を経て再生資材化した土で盛土します。その上に放射線を遮るための土(覆土)をかぶせ、農地盛土を造成します。現在、盛土造成のほかに、安全性や生育性を確かめるための試験用の盛土を造成し、花や野菜・資源作物の栽培を試験的に行ってています。※野菜は測定した後に、測定した分を含めて全量廃棄しています。

#### — 環境再生事業はどのように進められるの？ —



### 編集者きくかわから後記



長泥の事業についてお伝えする本広報誌もおかげさまで3号目となりました。2号から今号までの間に福島県内外の皆様に現地見学にご参加いただきましたが、高校生や大学生といった若い皆さんにも来ていただきました。私も高校生とのディスカッションに参加しましたが、学生の皆さんは真剣に除去土壌の再生利用について考え、発表もしていただき、私自身、考えさせられることがありました。今後も様々な方に現場を見ていただきたいと思っております！見学会は3月から再開予定ですので、是非お誘い合わせのうえ、ご参加下さい！

# 飯館村長泥地区運営協議会便り Vol.3



令和3年10月撮影 長泥地区環境再生事業エリア(水田試験エリア)を撮影

／こんにちは！／



編集者  
きくかわ

環境省福島地方環境事務所の編集者きくかわです。

前回令和3年8月に飯館村長泥地区運営協議会便りを発行させていただいたところですが、令和3年12月3日(金)に第12回飯館村長泥地区環境再生運営協議会が開催されましたので、その様子を報告させていただきます。

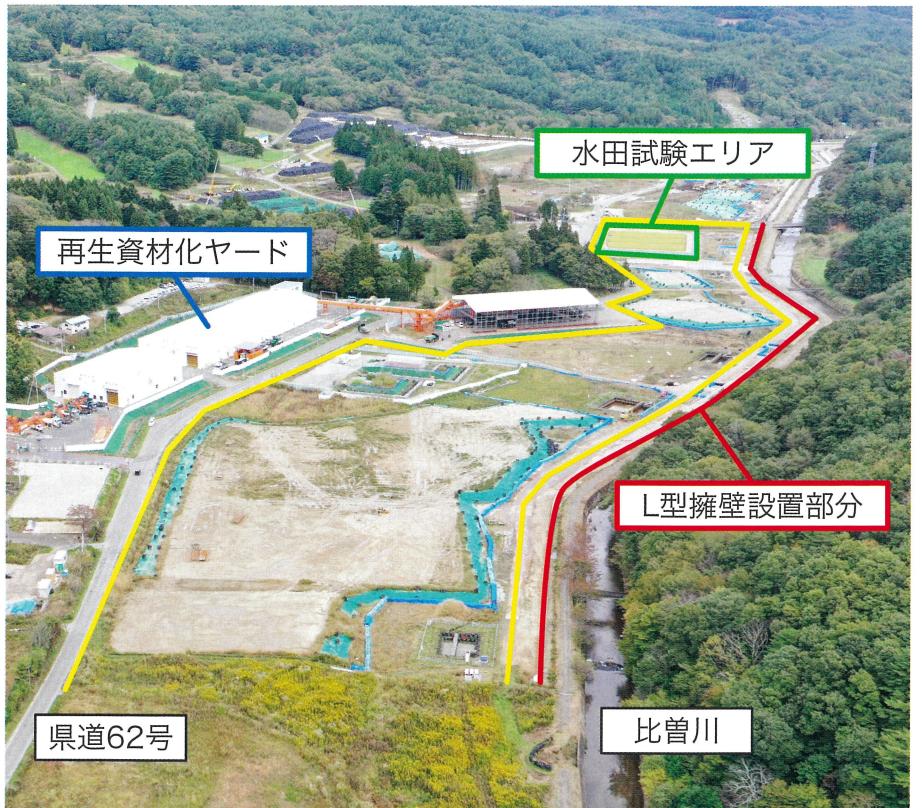
### 飯館村長泥地区運営協議会で、報告されたことと決まったこととは？



第12回の協議会で報告されたことと、決まったことなどを紹介します。

1. 環境省から、現在の事業の進捗について報告しました。
2. 環境省から、野菜の栽培実験の結果について報告しました。
3. 環境省から、水田の機能を確認するための試験の結果について報告しました。

## 1. 現在の事業の進捗状況について



2工区全域の現状(令和3年10月撮影)



盛土の状況

## 2. 野菜の栽培実験の結果について

昨年度に引き続き野菜の栽培実験を実施しました。ほぼ全ての作物で福島県の目標収量を満足し、高い収量を達成しました。

また、品質についてほぼ全ての作物で、JAの規格におけるA品の割合が70%以上となる高品質を達成しました。栽培した作物の放射能濃度は、覆土の有無に関わらず一般食品に関する放射性セシウムの基準値である100Bq/kgを大きく下回る結果となりました(0.1~2.5Bq/kg)。



カブ採取



ズッキーニ採取



ホウレンソウ採取

## 3. 水田の機能を確認するための試験について



代かき(6月11日)

刈取り(10月22日)

盛土造成(3月28日～5月13日)

植付け(6月15日)

耕うん(6月8日)

中干し(7月26日)

再生資材の上に50cmの山砂で覆土した盛土において、水田に求められる機能を満足するかどうかの水田試験を行いました。試験は盛土した土壤の透水性・排水性(暗渠排水等を設置して水はけのよさを確認)、地耐力(トラクターなどが走行しても問題なく表層が保たれるか確認)などの確認を行いました。多くの項目で基準を満たす結果が出ましたが、飯館村から透水性をさらに改善する対策について検討する試験のご要望をいただき、来年度は、透水性の改善に向けて試験を継続します。

また、水田機能の検証を試験目的とした、ほ場への稻わらのすき込みの前に実施した放射能濃度の測定結果は稻わら6.5Bq/kg、糲1.3Bq/kg、玄米0.5Bq/kgでした。

### トピック！ 長泥地区環境再生事業の一般向け見学会の開催について

長泥地区環境再生事業に対する認知度や理解度を高めるため、一般向けの現地見学会を7月から11月までに計12回開催しました。これまでに126名の方にご参加いただきました！

本見学会は冬季期間(12月～2月)は開催せず、2022年3月以降に再開予定です。皆さまの見学会参加についてのご応募お待ちしております！



見学会の詳細は  
コチラから



### トピック！ 福島県内の高校生が長泥にきました！！

福島県内の高校生(安積高校、福島高校、ふたば未来学園、安達高校、須賀川桐陽高校)が現地を視察されました。いくつかの高校では、視察前に環境再生事業に関する出前授業や、視察後にグループディスカッションを実施し、長泥のこれからなどをテーマにして意見交換を行いました。その一部をご紹介します。



出前授業の様子



視察の様子



ディスカッションの様子

#### ○ 当日の感想

- 汚染の少ない土壌の安全な再生利用は可能だと分かった。
- 県外・国外の人たちにどのように伝えているのか。信用のある正しい伝え方を考えて行きたいたい。
- 環境再生事業についての内容はあまり聞いたことが無かつたため、非常に新鮮であった。